

株式会社JCNコアラ葛飾では、番組審議委員による2013年度放送番組審議会を開催し、自主制作番組について多岐に亘り審議していただきました。この審議内容を踏まえ、地域の皆様に親しまれ信頼を得られるよう、よりよい番組づくり・番組の適正化に努めてまいります。

## 2013年度番組審議会

●日時 2014年3月10日(月) 午前11時00分から午後1時30分

●場所 株式会社JCNコアラ葛飾 会議室

●出席者

<番組審議委員>

委員長 薄葉 博司

副委員長 三矢 慶三

委員 石川 章治

長田 宏

堤 淳子

橋本 裕子

松島 英雄

<株式会社JCNコアラ葛飾>

西森 英樹 (代表取締役社長)

伊澤 和紀 (企画・制作部 制作・編成グループ グループリーダー)

高田 裕一 (企画・制作部 制作・編成グループ 課長代理)

佐藤 陽子 (企画・制作部 制作・編成グループ 課長代理)

<ジャパンケーブルネット株式会社>

日沖 英明 (千葉エリア制作室 室長)

<事務局>

黒澤 修史 (企画・制作部 渉外・広告グループ グループリーダー)

塩見 英輝 (企画・制作部 渉外・広告グループ 担当課長)

荒川 良子 (企画・制作部 渉外・広告グループ 課長代理)

## ●主な発言

### 【デイリーニュース】

- ・ 地域に密着した、真摯な取り組みをしてもらっている。出来上がった放送も主催者の意をくんだ放送をしている。これが続ければファン層が増えるのでは。
- ・ 手話によるニュースの時間帯があれば親切では。
- ・ 市民活動の放送・宣伝は、参加意欲を掻き立てるので良い。
- ・ コンパスのレポートはいつ観ても面白い。
- ・ イベント開催中のお知らせ放送は良い。
- ・ 市役所からのお知らせは、担当者が直接伝えているので親しみやすい。
- ・ ダイジェストは、平日視聴できない方にとってとても良い。

### 【葛飾区広報番組】

- ・ 防災対策情報を、減災を結び付けて提供してほしい。
- ・ マスコミや行政のPRによって、「自助」の感覚がポピュラーになってきた。この先も繰り返し伝えて欲しい。
- ・ 再放送をすることで、頭に入ってよい。

### 【故郷巡景】

- ・ 地域を学べて良い。
- ・ 風格があって良い。

### 【昔のはなし】

- ・ 地名の由来などが分かって面白い。

### 【その他】

- ・ 地域の環境に関する情報（PM2.5 数値など）を可能であれば放送してほしい。
- ・ 情報をどのように住民と共有化するかがテーマではないか。視聴者は自分の興味のあるものや、自分の参加したものはチェックしたくなる。画面に映るだけが参加ではない。制作の一部を手伝ってもらったり、情報提供も参加のひとつ。番組に関わる人を増やせば、視聴者も増えるのではないか。
- ・ コミュニティチャンネルの全ての番組に落ち着きがあって良い。
- ・ 学校教育を地域で支援する活動が行われつつある、また、地域活動を学校を中心として行うべきではないかという意見も出てきている。産学官のバランス、こういう視点から学校というものをとらえてほしい。おのずとそこに集まる市民、区民の考え方や行動がつかめるのでは。
- ・ 葛飾区内で活躍しているゼロングは面白い。ゼロングで防災番組を試みるのも良いのでは。
- ・ 放送方針にボランティア団体の活動支援を盛り込み、評価、期待してほしい。
- ・ 緊急性（災害発生時等）のある情報は、デイリーニュースだけでなく、即時性のある情報発信を期待したい。

以上